

IBM Cloud Garage Services for Analytics

本「サービス記述書」は IBM がお客様に提供する「クラウド・サービス」について規定するものです。お客様とは、契約を結ぶ当事者、その許可ユーザーおよび「クラウド・サービス」の受領者を意味します。適用される「見積書」および「証書 (PoE)」は、別途「取引文書」として提供されます。

1. クラウド・サービス

IBM は、以下のリモートから実施されるサービスを提供します。本「サービス記述書」において、これらを「クラウド・サービス」といい、以下の各技術分野で利用できます。

- Hybrid Data Management
- Unified Governance and Integration
- Data Science and Business Analytics
- Enterprise Content Management

1.1 IBM Cloud Garage Design Thinking Workshop

本サービスは、Design Thinking Workshop において、お客様のビジネス上の問題/ユース・ケースを検討します。この評価に応じて、IBM Analytics オファリングを活用するアプリケーションの構築を検討することができます。

このサービスでは、IBM は、IBM Design Thinking ワークショップを実施します。IBM Design Thinking は、既に広く認知されているデザイン・メソッドに加え、目標の丘、スポンサー・ユーザー、プレイバックという 3 つのプラクティスを拡充、実際のユーザーとの実際の開発から得たナレッジをも適用します。

IBM Design Thinking Workshop は、IBM Cloud Garage の所在地またはリモートで、最大 3 名で最大 96 時間分の工数を 1 週間 (最大 5 日間) にわたって提供します。IBM Design Thinking Workshop のユース・ケースは、お客様と IBM チームの間で協議して定義されます。関連するアクティビティは以下のとおりです。

- ユーザーの課題および望ましいビジネス成果の特定
- データを収集、整理および分析するためのお客様の要件の調査
- ユーザーのペルソナの定義
- 解決策に関するブレインストーミング
- Minimum Viable Product (MVP) の定義
- 仮説の特定と検証
- 技術的実現性の調査

IBM がサービスを適切に提供するために必要な前提条件は以下のとおりです。

- お客様が、アーキテクト、ビジネス・リーダーおよび IT リーダー、ならびにプロダクト・マネージャーを選任すること。
- IBM チームが、ユーザー・エクスペリエンス・リーダー、ソリューション・アーキテクト/テクニカル・リーダーを選任すること。
- お客様が「アイデア」または「プロジェクト」を有していること。

ワークショップの成果としては、検証された仮説および Minimum Viable Product プロジェクト定義があります。

IBM Cloud Garage Design Thinking Workshop for Analytics サービスの成果物は、実施レポートです。ワークショップの成果としての資料は、ワークショップの主なアイデア、テーマおよび洞察を取り込み、作成物や重要な決定事項を文書化し、最終的に提案された MVP ステートメントにどのようにしてチームが到達したのかを説明するものです。IBM は、本文書のコピー (1 部) を PDF 形式のソフトコピーで引き渡します。

1.2 IBM Cloud Garage MVP Build-up

本サービスは、IBM Cloud Garage の所在地で、またはリモートで、最大2週間にわたりプロジェクト実行チーム(2名から4名)によるサポートを提供するもので、以下で構成されます。

- 合計で最大24時間の製品シニア・コンサルティングを提供する、Cloudの「テクニカル・リード」1名。
- 合計で最大112時間の製品コンサルティングを提供し、対象分野の専門家としてお客様のスタッフと協力する「分析アーキテクト」2名以上。

本サービスには、お客様の各プロジェクトに対して必須の前提条件があります。

- IBM Cloud Garage Design Thinking Workshop for Analytics サービスを、各プロジェクト・エンゲージメントの開始前に完了しなければなりません。

サービスの開始時に、IBM プロジェクト実行チームとお客様は、MVP アプリケーションの範囲を定義し、またチーム・リポジトリ・ツールに取り込まれる「ユーザー・ストーリー」のリストについて合意します。「ユーザー・ストーリー」の優先順位は、「IBM チーム」と相談して、お客様の「製品オーナー」により、チーム・リポジトリ・ツール内で定期的にレビューと保守が行われます。

IBM Cloud Garage MVP Build-Up for Analytics の成果物は、IBM Analytics Solution プラットフォームで提供された、互いに合意した一連の「ユーザー・ストーリー」とアプリケーション作成物になります。

2. コンテンツおよびデータ保護

お客様は、「EU一般データ保護規則(GDPR)」に基づくお客様の個人データが、本取引においてIBMに提供されないことに同意します。

変更が生じた場合には、お客様は書面によりIBMへ通知するものとし、<http://ibm.com/dpa>にあるIBMの「データ処理補足契約書」(DPA)が、本契約に適用され、本契約を補足します。さらに、IBMおよびお客様は、「DPA別表」(DPAの記載のとおり)に同意します。「DPA別表」および該当する場合にはカスタム・サービスの「DPA」の修正が、「別紙」として本取引に追加されます。

3. エンタイトルメントおよび課金情報

3.1 課金単位

「クラウド・サービス」は、「取引文書」に記載された課金単位に基づいて提供されます。

- 「エンゲージメント」は、サービスを取得する際の課金単位です。「エンゲージメント」は、「クラウド・サービス」に関連するプロフェッショナル・サービス、研修サービスまたはその両方のサービスで構成されます。それぞれの「エンゲージメント」をカバーするのに十分なエンタイトルメントを取得しなければならないものとします。

3.2 リモート・サービス料金

リモート・サービスの料金は、かかるリモート・サービスの「取引文書」に記載された料金で請求され、リモート・サービスが使用されたか否かにかかわらず、購入から90日後に満了となります。

4. 追加条件

4.1 共通事項

お客様は、IBMが広報活動またはマーケティングのコミュニケーションにおいて、お客様を「クラウド・サービス」の利用者として公に言及できることに同意します。

4.2 提供される資料の権利の帰属

当該オフリングの履行によりIBMが作成する資料、およびお客様に提供された資料(これらの資料のベースとなる既存の資料がある場合は、かかる既存の資料を除く)は、適用法で認められる限りにおいて職務著作であり、お客様に権利が帰属します。お客様は、当該資料を使用、実行、複製、表示、遂行、他への再使用許諾、配布および二次的著作物を作成する、取り消し不能で無期限の非排他的な国内外における無償の使用権をIBMに許諾します。